大学・高専機能強化支援事業（支援１：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
実施状況報告書

選定年度	令和7年度	学校コード	F123310106755	設置等組織名	経営学部経営情報学科
大学名	星城大学	設置区分	私立		
学校種	大学	都道府県	愛知	事業計画名	事業貢献の拡大 「経営×情報」に関する新学科の設置

１.年度別の計画及び取組状況

年度別の事業計画と取組状況、自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組は赤字で記載し、計画変更の承認を受けた計画については、末尾に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応
令和7年度	1-① 令和７年４月から 経営情報学科新設のためのマーケット等調査継続 1-② 令和７年４月から 経営情報学科新設のためのコンサル導入（複数年契約）（R7.7.29承認） 1-③ 令和７年４月から 経営情報学科新設のための新校舎建設の検討 1-④ 令和７年４月から 経営情報学科新設のための連携団体などへの協力依頼および他大学への視察 ~~1-⑤ 令和７年４月から 経営情報学科新設のための協議会~~（R7.7.29承認）	1-① 令和７年４月から 経営情報学科新設のためのマーケット等調査継続 1-② 令和７年４月から 経営情報学科新設のためのコンサル導入（複数年契約） 1-③ 令和７年４月から 経営情報学科新設のための新校舎建設の検討 1-④ 令和７年４月から 経営情報学科新設のための連携団体などへの協力依頼および他大学への視察	令和7年度自己評価：【３】計画を十分に実施している。
令和8年度	1-~~⑤~~ 令和８年４月から 新校舎、新学科構想の広報 （R7.7.29承認）		令和8年度自己評価：リストから選択してください。
令和9年度	2-① 令和９年4月から 経営情報学科新設のための新校舎建設（名古屋キャンパス）		令和9年度自己評価：リストから選択してください。
令和10年度	~~2-② 令和10年4月～ 経営情報学科の施設設備検討・整備~~ （R7.7.29承認）		令和10年度自己評価：リストから選択してください。
令和11年度	3-① 令和11年4月から 経営情報学科開設・運営開始 ~~3-② 令和11年4月から 企業・外部人材等との協議、調査委託開始~~ （R7.7.29承認） ~~3-③ 令和11年4月から 経営情報学科の情報発信・広報活動開始~~ （R7.7.29承認）		令和11年度自己評価：リストから選択してください。
令和12年度			令和12年度自己評価：リストから選択してください。
令和13年度			令和13年度自己評価：リストから選択してください。
令和14年度			令和14年度自己評価：リストから選択してください。
令和15年度			令和15年度自己評価：リストから選択してください。
令和16年度			令和16年度自己評価：リストから選択してください。
認可申請 又は届出	令和９年３月 経営学部経営情報学科 認可申請予定 令和11年4月 経営学部経営情報学科開設		
定員減又は 学部等の廃止	令和９年３月経営学部経営学科定員減（60名）申請		

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	星城大学

２.申請資格の確認

ⅰ） 学生募集停止中の大学
ⅱ） 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学
ⅲ） 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学
ⅳ） 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学
ⅴ） 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第２条第１号又は第２号のいずれかに該当する者が設置する大学

上記項目の申請資格の状況について、プルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目に該当していない、右の○の項目に該当している）

申請資格の状況	ⅰ）	ⅱ）	ⅲ）	ⅳ）	ⅴ）
すべての項目に該当していない					

３.申請要件の取組状況

① 高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。□
② 十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。
③ 産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。
④ 特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。
⑤ 計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。
⑥ 特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。
⑦-1 社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。
⑦-2 学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。
⑧ 入学定員が20名以上増加する計画であること。
⑨ 事業計画の選定があった日から４年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）
⑩ 大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。
⑪ フェーズ３の助成期間終了時までに、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去５年間の中央値３年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。
⑫ 計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。
⑬ 選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和５年４月13日文部科学大臣認可）六（２）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。
⑭ 文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。

上記項目の①～⑬の申請要件について、　令和7年度　の取組の状況についてプルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目が要件を満たしている、右の○の項目の要件を満たしていない）

申請要件の状況	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦-1	⑦-2	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
すべての項目が要件を満たしている														

①～⑬の要件を満たしていない又は対象ではない項目がある場合、左欄に該当する申請要件を選択し、右欄に課題（理由）とその対応について記載してください。

項目	課題（理由）

⑭については、現在の状況をプルダウンより選択してください。

申請要件⑭について	現在の状況
⑭文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	認定を受けておらず申請する意向もない

４.審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和7年度　の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（連携開設科目等に限らない）

■ チェック　a.企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
□ チェック　b.関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
□ チェック　c.関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
a.愛知中小企業家同友会、一般社団法人愛知県情報サービス産業協会、中部アイティ協同組合に所属する企業との産学連携を強化し、複数の企業から実務経験豊富な技術者を講師とし招聘する予定である。この産業界との連携を活かし、ビジネス現場で蓄積されるデータの収集・活用・分析に重点を置いた実践的な授業科目、ならびに成長分野における先端技術の社会実装を試行する授業科目を開講する予定である。 これにより、現場の最前線で求められるスキルと知見を反映した教育プログラムを提供し、社会課題の解決とイノベーション創出を推進する「実践力を兼ね備えたデジタル人材」の育成を目指す。	取組実績：申請時の計画を実施するにあたっては、教育効果の担保および事業の継続性・安定性などを確保するため、学内体制や教育課程全体の整理を十分に検討する必要があるとの判断に至った。 進捗状況：取組実績をふまえ、申請時の計画の実施には移行せず引き続き検討を行う。	課題：産学連携型教育を実施するうえで、授業運営体制の明確化、教育内容・評価方法の具体化といった課題が明確となった。 対応：左記の取組実績、進捗状況および上記の課題認識を踏まえ、学内体制の整備を進めたうえで、産学連携の実施に向けた具体的な方策を検討し、人材育成という本計画の実施に向けた展開を図る予定である。

【B：多様な入学者の確保に向けた取組】

■ チェック　a.入学者選抜における科目の見直し
■ チェック　b.女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
■ チェック　c.地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
□ チェック　d.社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキリングへの対応）
□ チェック　e.留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
a.「実践力を兼ね備えたデジタル人材」になることを目指している学生に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜における科目の設定を実施する計画である。また、優秀な外国人留学生特別枠、理系女子特別枠の設置にむけた入学者選抜方式についても導入を計画している。 b.女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組として、「最先端の工学（経営情報）が学べる都市型キャンパス」を名古屋市の中心部に新築し、また、「地域の未来を担う理工系女性人材の育成プログラムの開発」も予定しており、地域社会で活躍できる理工系女子に関する育成体制を整える。また、ターゲット層となりうる地域の高等学校への説明会を認可承認後に開始する予定である。 c.地域の初等中等教育段階の学校との連携として、「ナゴヤキャリアタイムサポーターへの登録」を完了しており、「出前授業への出講、職場訪問受入れ、職場体験の提供など」を積極的に対応していく。	取組実績：申請時の計画を実施するにあたっては、入学者選抜に係る制度設計の妥当性、地域社会で活躍できる理工系女子の育成体制を構成する教育内容・支援体制、ならびに地域連携を継続的に実施するための学内運営体制等について、教育方針および学内体制との整合性を確保した上で進める必要があるとの判断に至った。 進捗状況：取組実績をふまえ、具体的な制度導入や対外的な実施には至らず、申請時の計画の実施には移行せず引き続き検討を行う。	課題：入学者選抜方法の具体化に向けた学内合意形成、理工系女子の育成を支える体制整備、ならびに地域の学校との連携を実効性のある形で進めるための調整プロセスについて、課題が明確となった。 対応：左記の取組実績、進捗状況および上記の課題認識を踏まえ、学内体制および教育課程全体の整理を進めた上で、入学者選抜の在り方や育成体制の具体化、ならびに地域連携の実施に向けた方策を段階的に検討し、本計画の実施に向けた展開を図る予定である。

大学名	星城大学

本事業対象となる学部等の個数	1

１.本事業対象となる学部等の状況

<内訳>

(1)

改組内容	既存学部における学科の新設
学部学科名	経営学部経営情報学科

		年度		R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	R25年度
		改組状況		選定																		
大区分	小区分	項目	単位																			
	事業計画に定める定員	入学定員	人	-	-																	
		編入学定員	人	-	-																	
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	-	-																	
		入学者数	人	-	-																	
		女子学生数	人	-	-																	
		社会人学生数	人	-	-																	
		留学生数	人	-	-																	
	その他の学期	入学定員	人	-	-																	
		入学者数	人	-	-																	
		女子学生数	人	-	-																	
		社会人学生数	人	-	-																	
		留学生数	人	-	-																	
	入学者合計	入学定員(A)	人	-	-																	
		入学者数(B)	人	-	-																	
		女子学生数	人	-	-																	
		社会人学生数	人	-	-																	
		留学生数	人	-	-																	
		入学定員充足率（B/A）	倍	-	-																	
	収容定員等	収容定員(C)	人	-	-																	
		編入学定員	人	-	-																	
		在籍者数(D)	人	-	-																	
		編入学者数	人	-	-																	
		収容定員充足率（D/C）	倍	-	-																	
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	-	-																	
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	-	-																	
		授業科目の単位数	単位	-	-																	

大学名	星城大学

２.理･工･農学分野の学位を授与できる学部等（学士課程）の状況

大区分	小区分	項目	単位	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	R25年度
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	-	-																	
		入学者数	人	-	-																	
		女子学生数	人	-	-																	
		社会人学生数	人	-	-																	
		留学生数	人	-	-																	
	その他の学期	入学定員	人	-	-																	
		入学者数	人	-	-																	
		女子学生数	人	-	-																	
		社会人学生数	人	-	-																	
		留学生数	人	-	-																	
	入学者合計	入学定員(A)	人	-	-																	
		入学者数(B)	人	-	-																	
		女子学生数	人	-	-																	
		社会人学生数	人	-	-																	
		留学生数	人	-	-																	
		入学定員充足率（B/A）	倍	-	-																	
	収容定員等	収容定員(C)	人	-	-																	
		編入学定員	人	-	-																	
		在籍者数(D)	人	-	-																	
		編入学者数	人	-	-																	
		収容定員充足率（D/C）	倍	-	-																	
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	-	-																	
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	-	-																	
		授業科目の単位数	単位	-	-																	

大学名	星城大学

３.大学（学士課程）の状況

年度				R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度	R25年度
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	380	380																	
		入学者数	人	228	266																	
	その他の学期	入学定員	人	0	0																	
		入学者数	人	0																		
	入学者合計	入学定員(A)	人	380	380																	
		入学者数(B)	人	228	266																	
		入学定員充足率（B/A）	倍	0.60	0.70																	
	収容定員等	収容定員(C)	人	1,520	1,520																	
		編入学定員	人	0	0																	
		在籍者数(D)	人	1,016	1,009																	
		編入学者数	人	0	1																	
		収容定員充足率（D/C）	倍	0.67	0.66																	

４.外部資金の状況（全学）

年度		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度
改組状況		申請-5年	申請-4年	申請-3年	申請-2年	申請-1年	申請	選定												
項目	単位																			
外部資金獲得額	千円	45,480	21,060	18,460	20,190	11,750	11,330	12,740												

項目	単位	
申請時点の外部資金獲得額平均（過去5年間における各年度の外部資金獲得額のうち最大額及び最小額を除いた残り3年分の平均）(E)	千円	19,903
本事業による助成金の額(F)	千円	593,800
フェーズ３の助成期間終了時までに達成する額(E+F×2.5%)	千円	34,748

特記事項

「３.大学（学士課程）の状況」の「その他の学期」における入学定員は若干名となります。
「３.大学（学士課程）の状況」の「編入学定員」は若干名となります。